

広報

心の通う福祉のまちづくり



さつま町 ふくし

No.17

平成22年11月発行

発行・編集

社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会
さつま町宮之城屋地2117-1（宮之城ひまわり館内）

TEL 0996-52-1123
FAX 0996-52-1148



宮之城中学校の生徒さん
（太陽保育園にて）



薩摩中央高校
福祉課の生徒さん
（鶴宮園にて）

今年も、夏休みをサマーボランティア月間として、中学生、高校生を対象に福祉施設等でのボランティア体験を開催しました。町内の施設18か所に、総勢93人の生徒が参加されました。この経験を、今後につなげていってほしいです。

共同募金豆知識

共同募金は、60年以上の歴史があります。

昭和22年、戦禍に見舞われた福祉施設や福祉団体の復興を目指し、児童保護や育児事業を中心に始まりました。

記念すべき第1回共同募金では、当時の金額で、5億9000万円が寄せられ、戦争で住まいを焼かれたり、親を亡くされたりした孤児たちの様々な活動の支援がなされました。

労働者の平均賃金が1,950円の時代に、1人当たりの平均寄付額は8円だったそうです。

当時の5億9000万円は、現在の貨幣価値に換算すると、約1,200億～1,500億円ほどだと言われています。

(中央共同募金会ホームページより引用)

詳しくは、中央共同募金会ホームページをご覧ください。

<http://www.akaihane.or.jp>

赤い羽根共同募金
歳末たすけあい募金

今年度も、十月一日から十二月三十一日まで、共同募金運動が始まりました。

さつま町では、次の目標額を、県より要請されています。

共同募金 四百五十八万円
歳末たすけあい募金 八十五万円

募金目標額が達成できますよう、

今年度も、ご協力よろしく願います。

こんな時はご相談ください。

- ・介護保険ってどういう制度？
- ・どうしたら利用できるの？
- ・介護保険証が届いたけれどどうすればいいの？
- ・要介護認定はどうやって受けるの？
- ・寝たきりの高齢者がいるので家が空けられないんだけど…
- ・介護している家族が病気になってしまった。
- ・病院から退院してくるけれど家で生活が送れるのかしら？
- ・今は元気だけれど、一人暮らしなのでこれからの生活が不安…
- ・介護保険を使って風呂や廊下に手摺りをつけたい、段差をなくしたい…
- ・ベッドや車椅子は借りられるの？

社会福祉協議会の仕事

今回は、居宅介護支援事業所と在宅介護支援センターについて、紹介します。

居宅介護支援事業所

さつま町居宅介護支援事業所では、住み慣れた自宅等で安心して過ごしたいだけのように、介護保険の申請やサービスのご案内をし、ご本人、ご家族のご要望をお聞きしながら、6名の介護支援専門員（ケアマネジャー）でケアプランを作成させていただき、また、サービス提供事業所との連絡調整のほか、継続して在宅生活が送れますようご支援させていただいております。介護保険や介護についての悩みなど、お気軽にご相談ください。

TEL 0996(52) 1866

《秘密保持について》 業務上知り得た利用者またはご家族の情報を、許可なく他者にもらすことはありません。



七月九日、流水小学校、鶴田小学校で、保護者を対象とした赤十字講習会（救急法）が、開催されました。日本赤十字社鹿児島県支部より救急法指導員を招き、九十分間にわたる説明、実技を行いました。実技中心での説明だったため、興味深く、楽しそうに講習を受けていらつしました。

赤十字講習会

これまでに、体験したことのある生徒が、初めて体験する生徒に教えている風景もあり、実にほほえましい一面もありました。

宮之城中学校では、三年生を対象に、車いす体験、高齢者疑似体験、手話講座を実施し、鶴田中学校では、六月に続き、一年生を対象に、介護実習を実施しました。

宮之城中学校と、鶴田中学校で総合的学習の時間に福祉体験学習を実施しました。



福祉体験学習

在宅介護支援センター

在宅で援助を必要とする高齢者や、その家族からの相談を受け、介護等に関する各種の保健、福祉サービスが総合的に受けられるように、町やサービス事業者、居宅介護支援事業所等との連絡調整を行いながら支援します。

さつま町では、4か所の在宅介護支援センターが、地区ごとに定められています。

お気軽に、いつでも、ご相談ください。

名 称	ク オ ラ	社 協	ほたるの里	さつま園
電話番号	53-0026	52-2443	53-1008	57-1993
担 当 地 区 名	宮之城屋地区	虎居区	鶴田区	求名区
	船木区	時吉区	神子区	中津川区
	山崎区	平川区	柏原区	永野区
	久富木区	白男川区	紫尾区	佐志区 (木浜、仮屋原、 前目、ほたる、 広瀬、池之野)
	二渡区	泊野区	湯田区	
		佐志区 (さくら、上寺下、 豆漬、布田、 あながわ、田原)	柊野区	

中津川地区社会福祉協議会

会長 米森 十一

平成二十二年度中津川区の運営方針は、先人達が築いてきた文化と豊かな自然に感謝し、明るく温かみのある地域づくりに努める。

中津川区は五公民会からなり、四百六十世帯、人口一千百三十七人、高齢化率三十七・五%です。(平成二十二年十月一日現在)

中津川と言えば多くの方がご存知「金吾さあ踊り」と言われます。その「大石神社奉納踊り」は、今年も九月十九日に神社の境内で開催され、八団体の踊りが奉納され、境内は町内外一千四百人の観衆に湧きました。祭も全国区となりつつあり、遠来者は群馬県からでした。各公民会では自慢の郷土芸能が連綿と継承されています。(別野公民会・虚無僧踊り、弓之尾公民会・鷹刺し踊り、尾原公民会・兵児踊り、武白猿公民会・三尺棒踊り、北方町公民会・俵踊り・六尺棒踊り、区で今年復活・地割り舞)

兵児踊り



鷹刺し踊り

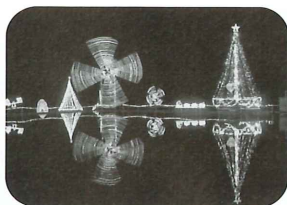


地割り舞



祭は区総力を挙げて、九月に入り毎週日曜日午前七時から一般ボランティアによる周辺の清掃草刈り等を行ない、中学生は祭当日の踊り紹介など放送を担当し、高校生は事前の幟六百本の組立と、沿道への設置、祭当日の受付、何れも祭に欠かせない存在です。

特に、青壮年組織は活動が活発です。自主的、積極的な活動が目につきます。組織間の交流もあり、郷土芸能はもちろんですが、区公民館の行事をはじめ、各公民会の運営と事業の遂行に、青壮年組織は欠かせない存在となっています。



中津川の冬の風物詩「イルミネーション」は、中津川のPRと交流人口の拡大、合わせて冬の憩いの場づくりを願い開催しています。小学校隣の水田に水を張り、四万個の電飾を配します。水面に映える電飾と合わせて八万個の輝きは、見る人を感じさせて、自然と感激の言葉が発せられます。タワー三本(柱最長十八m)風車二基(羽根最長九m)その他多数の電飾を使います。中でも水面に映えて回る風車は圧巻です。電飾を利用し、毎年十二月二十三日はイベント「イルミネーションINなかつこ」を開催しています。小学生のハンドベル・南米民謡・歌謡シ

等、また、地元産品の当たる抽選会、女性組織による「ぜんざい」提供等、寒い中にも大変盛り上がります。他に「収穫感謝祭」を十一月に開催しています。農林産物展示品評会(即売会)・田んぼゴルフ・田の神講・ポン菓子・綿菓子・猪鍋・あつきやげ宴と老若男女楽しめるイベントです。

是非「なかつこ」のイベントにご参加ください。

◎ふれあいいきいきサロン



五公民会のすべてに、サロンができて各公民会で、特色ある活動がなされています。公民会長・民生委員・福祉アドバイザーの連携も良く、健康体操・歌や踊り・料理教室・温泉行き等、参加者はサロンを楽しみにされています。

◎近隣福祉ネットワーク

民生委員・公民会長・在宅福祉アドバイザーによる、要援護者の実態把握、一人暮らしや高齢者などへの声かけ、見守りに努められ、安心安全な地域づくりに大きく貢献されています。

◎敬老会の開催

敬老会は福祉部が執り行ないました。部会を開き綿密な計画をたて、総力を挙



げて遂行されました。今年は関係者の努力と事前対策の効果があり、多くの参加者で長寿を祝いました。あびる館の舞台狭しと、シルバークワイ炸裂、太鼓三味線に飛び入りの踊りが続き、踊り好きで元気な「なかつこ」を感じる宴で大変にぎわいました。

◎高齢者と小学生の交流



異年齢の交流を毎年一回、小学校の子供達と行なっています。グラウンドゴルフ・お手玉遊び・たこ揚げ・コマ回し等、満面の笑顔で接しられ、子供達とのプレーは実に微笑ましい限りです。今年は福祉部の提案で、給食体験もあり、更に交流が深まり、楽しい集いになります。

◎地域づくり

少子高齢化の著しい地域で、目指す「明るく温かみのある地域づくり」は、課題を認識し、知恵を出し合い、力を合わせて、計画実践することが必要です。目標の達成に一層の努力が必要と、思っているところです。



農村公園清掃作業



地域で造った焼酎「金吾さあ」

お散歩、公園、こんには

太陽保育園

太陽保育園は、宮之城ひまわり館、太陽福祉センターの東側に隣接しています。

園児数は、現在六十一名で、例年と異なり、乳児から幼児まで、バランスの取れた人数配分になっており、うれしい限りです。

秋口から初冬にかけて、積極的に散歩に出かけています。(太陽保育園をアピール)

今の時期(九月下旬～十月上旬)ですと、彼岸花の咲いている中を、栗の実や、ドングリの実を拾って歩く、といったところです。目的は、体力づくり、季節を知る、地域の人との交流などです。



散歩の終着は公園です。水辺の楽校、轟公園、若草公園、帝釈天など。

時には、公園のはしごもします。公園の利用回数が多いので、ゴミ袋を持ってい

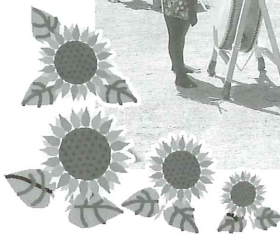
き、お世話になる公園のゴミ拾いを行っています。

十月六日は、宮之城中学校のお兄ちゃん、お姉ちゃん六人と一緒に、あきば公園へ行きました。

屋地交番、郵便局、宮之城ひまわり館、太陽福祉センターには七夕飾りを飾ってもらって交流を図るとともに、職員の皆さんからは、いろいろな行事や、散歩のたびに、声をかけていただいております。



おかげで、いろいろな行事で皆さんに来ていただくよりも、交流の場が広がっているようです。また、当園の特色として、太陽保育園ちくりん太鼓があります。



毎年、年長組の園児が、五ツ太鼓を二曲ほど打てるように頑張っています。地域の人たちとの交流として、これまで、初市や敬老会、福祉ボランティアフェスタ等で披露しています。

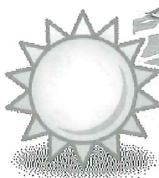
四月から練習を始めるので、上手く叩けるようになるのは、八月か九月頃になります。五ツ太鼓は鐘まであわせて五種類の太鼓を打つので、非常に難しい太鼓ですが、みんなの息が合ってくると楽しい太鼓です。声をかけて下されば、できる限り披露したいと考えていますので、よ

ろしくお願いします。

昨今、小地域でも、人とのつながりが薄くなってきたりしています。太陽保育園は、これからいろいろな場所へ出かけると思います。

あちこちで、声をかけたり、かけてもらったりすることで、人とのつながりが深まり、それは、子どもの成長には欠かせないことだと思えます。

散歩の途中で会いましたら、ぜひ声をかけてください。



皆様の 善意に 感謝申し上げます

社会福祉協議会では、皆様方より頂きました寄付を、地域福祉の向上のために使用させていただいております。

なお、前回掲載漏れがありましたので、ここにお詫びして、今回、掲載いたします。

(平成二十二年六月一日)
平成二十二年九月三十日受付分

香典返し寄付

八十二件
九十一万円

寄付者名(故人名)(敬称略)

公民会(又は住所)

安藤喜代美(故 安藤トミカ) 新町
栗野スミ子(故 栗野 安夫) 西湯田原
外園 タル(故 外園 初男) 紫尾上
脇 ハルミ(故 脇 末太郎) 下手
吉住 良輔(故 吉住 敬子) 伊佐市
下原 穂積(故 下原 愛子) 別野
新屋 幸子(故 竹内ミフ子) 薩川内市
中村ヨシエ(故 半崎 フミ) 虎居
井上 隆一(故 井上喜代子) 鹿児島市
外堀ムツコ(故 外堀 稔) 時吉中城
永吉 悦子(故 永吉 一成) 二渡
木村 隆成(故 木村 エミ) 川原町

古町 三男(故 古町 チエ) 武白猿
久保 勝俊(故 久保ツヨ子) 湯之元
鹿子島マサ子(故 中村ヨシエ) 中央
柳田 周作(故 柳田 タマ) 別野
藤田 豊美(故 藤田 ナミ) 海老川
田原マツエ(故 右近允タエ) 田原
前之園 新(故 前之園ハルノ) 木洪
福岡 良一(故 福岡 高夫) 二渡
川野 豊治(故 川野ヨシエ) 北方町
角井 良充(故 上丸サダエ) 薩川内市
川崎 千里(故 川崎 玉重) 城之口
谷山 一子(故 谷山 秀男) 大平
別府 美子(故 別府トシエ) 北方町
山内 計造(故 山内 克子) 東湯田原
手塚 博(故 手塚トミエ) 長崎県
山内 久義(故 山内 ヤス) 山崎中
大園 正光(故 大園 正三) 角郷
村田アイ子(故 谷山 ヤエ) 鶴田
宮之下ゆき子(故 宮之下正秀) 京塚原
福本二三恵(故 大迫 シゲ) 布田
三腰 博昭(故 三腰 丁子) 泊野高峰
市成 市子(故 市成 敏雄) 東善寺
豎山 光久(故 豎山 敏子) 下手
松尾 シヅ(故 松尾 呂) 下平川
嶽 政博(故 嶽 サニ) 町頭
三腰 光子(故 三腰 隆満) 泊野高峰
田島のぞみ(故 大山 久子) 湯之元
富園 トキ(故 今別府 賢) 大薄下
桑園トミエ(故 桑園 幸男) 大畝町
福島 一寛(故 福島ユミ子) 池之野
村尾 祥子(故 村尾 三夫) 西町

宇都 清志(故 宇都フヂエ) ほたる
大野スミコ(故 大野 博明) 大長
室屋 一三(故 室屋三日男) 小路上手
高嶺 博和(故 高嶺 健雄) 高嶺
内村 学(故 内村 エキ) 上川口
堂園千代子(故 堂園 勇) 虎居大角
上村 尚(故 上村スエ子) 草田
村山 清彦(故 村山 チキ) 町頭
山口 健三(故 山口 重行) 薩川内市
内山まり子(故 内山 敦吉) 上向
福山ミヨ子(故 福山 武徳) 轟原
久留 光郎(故 久留 光行) 二渡
上別府満理子(故 上別府忠二) 上川口
山本ミツエ(故 山本フヂノ) 東
豊増 文夫(故 豊増ひろ子) 田原
若林 純子(故 現王園三郎) 船橋市
下野 良之(故 下野 二力) 下川口
大石マズミ(故 大石 福松) 湯田原
武 洋治(故 武 ミツ) 岩元
田口 守(故 田口 四郎) 上仲町
櫛山 彪一(故 櫛山 敏子) 東町
池江ミチ子(故 池江 テル) 船木東
中島 孝治(故 中島 クミ) 西町
正岡 シヅ(故 正岡 勝彦) 東
吉井 末廣(故 吉井キクエ) 大薄上
上久保益雄(故 上久保信幸) 上川口
向井ヒロ子(故 向井 正好) 大角
下屋敷和雄(故 下屋敷富雄) 三重県
立田 芳伸(故 立田ミツエ) 虎居馬場
肝付 秋子(故 酒匂 信子) きらら
江藤 順正(故 江藤 トミ) 弓之尾

宮之脇四郎(故 宮之脇ヤオ) 紫尾中
小西 清満(故 小西 一雄) あながわ
本田 公雄(故 本田ユクノ) 薩川内市
下市 隆治(故 下市ハミ子) 時吉中城
野村 律子(故 野村みどり) 上向中
栗野八重子(故 武 ナミエ) 栗野
宇都 淑子(故 宇都 一弘) 大畝町

篤志寄付

四件
四万五千三百六円

寄付者名(敬称略)

・紫尾区大衆浴場 上之原 純夫
・宮ちゃんバンド
・チャリティコンサート
・社会福祉法人ひいらぎ会
・宮之城ふくし園 夏祭り益金
・匿名希望二件



上向ひまわりサロン (上向公民会)

代表 児玉 富士生

上向ひまわりサロンは、会員三十四名で、在宅福祉アドバイザー、食生活改善推進員を中心に、公民会長、民生委員をサポートに、平成十七年十一月から毎月一回、上向集会所で実施しています。その内容は、健康体操・防犯・交通安全・栄養教室等です。



特に、健康体操教室は、足腰の弱体化防止の一つとして、講師を招いて実施しており、体操の合間には「笑い」を取り入れ、みんなで大声を出して笑いあうひと時が、何とも言えないさわやかな気持ちになり、とても人気があります。

また、防犯・交通安全・栄養等の話を繰り返し聞くことで、住みなれ

た家で、快適な生活を送る手助けになればと思っています。

毎年十二月には、公民館の方を講師として、小物の正月飾りを作っています。みんなで、わいわいと一生懸命に作った作品を玄関口に飾ると、家の中がピリッと引き締まるようです。

会の終わりには、食生活改善推進員、在宅福祉アドバイザーさんのリーダーシップのもと、各班長さんの協力で、お茶飲み会を楽しく過ごしてお開きとなります。

当地区でも、高齢化が進み、近所近辺の付き合いが少なくなってきました。この会を通して、「一つ一つ実践する元気な住人」を目指して、今日も頑張っています。



ボランティア養成講座

平成二十二年度もボランティア養成講座を開催しました。

今年度は、「高齢者ふれあいいきいきサロン」をサポートする人材育成を目標として、講座を実施しました。

六回の連続コースで、四十人の方が参加されました。

指宿なのはな館でのニュースポーツ体験や、簡単にできるレクリエーション講習、料理教室などを開催し、どなたも、楽しんで参加していらっしやいました。

今年度の養成講座は、終了しましたが、来年度も実施していきますので、ぜひ、ご参加ください。



地域福祉推進事業

さつま町社会福祉協議会では、今年度、新規事業として、住民同士での助け合いを強化して整備する事業を開始しました。

初年度は、永野地区をモデル地区として指定し、以降、三年間継続して実施していきます。

この事業の内容は、誰かの助けが必要ではあるけれども、公的サービスの対象にならない部分を、地域住民が協力して、手助けしていく事業です。

高齢者だけに限らず、妊婦の方や、乳幼児をかかえるお母さん方、または、子どもたちなど、社会的弱者にあたる人々を支援していくものです。将来的には、さつま町全域で実施することができたらと考えています。今後の事業展開に注目してください。

永野地区での事業説明会 (平成22年9月6日)



福祉の職場

福祉の現場で働いてみませんか？

同時開催

三二就職面談会

日時

平成22年11月25日（木）

時間 午後13：00～16：00（受付12時30分～）

場所

薩摩川内市 ホテル太陽パレス

薩摩川内市横馬場町 3 - 1

TEL 0996-20-2111

対象者

- ▷ 一般の方
- ▷ 大学・短大・専門学校生（23年3月卒業予定者）
- ▷ 当日受付 ・ 参加費無料

求職登録
情報提供
各種相談



- ☆主催 : 鹿児島県・鹿児島県社会福祉協議会
- ☆共催 : ハローワーク川内・ハローワーク宮之城・ハローワーク伊集院
- ☆後援 : 県社会福祉施設経営者協議会・社会福祉施設種別協議会

- お問合わせ先 : 鹿児島県社会福祉協議会
福祉人材・研修センター（福祉人材無料職業紹介所）
〒 890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号（県社会福祉センター6階）
099-258-7888
099-250-9363（fax）

参加者募集

赤十字奉仕団ふれあい健康安全教室の参加者を募集しています。

社会福祉協議会では、日本赤十字社鹿児島県支部、さつま町分区分、宮之城赤十字奉仕団と協力して、教室を開催します。

当日は、介護講習を実施するとともに、動脈硬化検診、非常食炊き出し訓練も行ないます。日ごろ、なかなか介護講習を受ける機会はないと思いますので、この機会に、ぜひ参加されたいかががでしょうか。

参加希望の方は、社会福祉協議会まで、ご連絡ください。

日時：12月6日（月）
10時～15時
場所：ひまわり館

【申し込み先】

さつま町社会福祉協議会
（ひまわり館）
TEL 52-1123
FAX 52-1148

● 編集後記 ●

だんだんと寒くなってきましたね。体調管理には万全を期しているのですが、すぐに風邪をひいてしまって、、、 みなさん、健康には十分、気を付けてくださいね。

今号の発行にご協力いただいた皆様に感謝です。（T）

＜編集委員＞

松下 正人（屋地）、桑波田敏光（屋地）
甫立ミヨ子（虎居）、有馬 崇浩（社協）